

表6-5 採草地・放牧地および更新地の施肥基準.

区分	施肥量 (kg/10 a)										成分			
	H19年度	高度化成	尿 素	LP100	複合尿素	重過石	熔 燐	タンカル	苦土カル	堆肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO
	面積(ha)	555	(46%)	(40%)	複加安16号	(38%)	(20%)							
採草地	早 春	13.3	7.0								5.2	2.0	2.0	
	一番刈後	6.7	6.3								3.9	1.0	1.0	
	二番刈後	10.0	3.3								3.0	1.5	1.5	
	三番刈後									400	1.4	2.6	8.8	
合 計	37.38	30.0	16.6							13.5	7.1	13.3		
放牧地 ¹⁾	早 春	17.3	5.8								5.3	2.6	2.6	
	追 肥 ²⁾	25.9	8.6						20.0		7.8	3.9	3.9	2.0
	合 計	17.14	43.2	14.4					20.0		13.1	6.5	6.5	2.0
更新地	4.25	34.0				30.0	50.0	200.0		2,000	12.1	26.6	49.1	
北山放牧地 (内施肥面積 30 ha)	105.3			14.0	7.0						6.3	1.4	1.4	0.2

* 堆肥有効成分: N:0.35%, P₂O₅:0.65%, K₂O:2.2%

1) 表にあげた施肥基準は生草換算収量3 tとし、採草地には表5-7に示す通り、収量が1 t増すごとに高度化成555を15 kg、尿素有5kg増しとする。

2) 放牧地追肥は年3~5回に分施する。